

9月26日生活科学科1年生の調理実習には松露亭の武本料理長にきていただき、「出汁のとり方」を学び、「かき玉汁とほうれん草のおひたし」のポイントについて実習を通して教わりました。その後「だし巻き卵」の製作過程を実演していただくなど内容の濃い実習でした。1年生はこれから本格的に調理室を使用しての実習が多くなり、調理の基本的なことを学んでいきます。調理しながら片付けにも気を配っていくなど作業手順を覚えていきます。頑張りましょう。



9月27日は家庭クラブで製作した交通安全のお守りを配布してきました。例年の活動ではあるのですが、多くの方に配って声をかけることができましたようです。お疲れ様でした。その様子が9月28日神戸新聞北播版に掲載されていました。



また同日、山田先生と体育科3年生2名で小学生の陸上競技指導で福田小学校5・6年生の体育の授業を担当しました。「PEマスター派遣事業」で各小学校に出向いて体育科生徒が模範演技をしながらランニングのコツなどを小学生にわかりやすく説明するものです。実際に小学校の先生たち(実習生含む)にも指導方法などを見ていた

だく内容の授業でした。27日は5・6年生の児童たちに26日にも行った腿の上げ方や地面の設置の仕方、ストライド(歩幅)の伸ばし方やピッチ(足の回転)を早くするコツなどを指導していました。1時間という短い時間ですが、児童たちの動きは良くなり、小学生の吸収力の早さに驚きました。体育科生徒も実演することで、ポイントや説明の仕方など実際の指導場面を理解でき、将来指導者を目指すものにとっては貴重な経験となったことと思います。この事業は、加東市内の希望小中学校を回って指導していきますが、このような機会をいただけたことに感謝したいと思います。体育科生の皆さん頑張ってください。そして事業に参加されている小中学校の皆さん、先生方よろしくお願ひします。山田先生お疲れ様です。



29日は高校教育改革検討委員会、校長会理事会と2つの会議に出張してきました。第3期ひょうご教育創造プランが発表され、普通科改革や生徒減に伴う発展的統合など大きく変わりつつある高校教育ですが、その進捗状況を報告されていました。現在のコースがなくなり特色類型か学科になること、普通科では学際領域に関する学科(SDG's や Society5.0 に伴う諸問題に対応するため学際的・複合的な学問分野や新たな学問領域に即した最先端の特色・魅力ある学びに重点を置く)、地域社会に関する学科(高等学校が立地する地元自治体を中心とする地域社会が抱える諸課題に対応し、地域や社会の将来を担う人材の育成を図るため、現在及び将来の地域社会が有する課題や魅力に着目した実践的な特色、魅力ある学びに重点をおく)、STEAM(Science,Technology,Engineering,Art,Mathmatics)に関する学科(実社会における新たな課題を発見し、課題解決に取り組む過程で新たな価値を創造する力を育成)が学校の希望により設置可能ということです。それぞれ総合的な探究の時間の単位数を増やし、特色あるものにしていくのですが、これからの時代教科横断的に考えることが求められるようになってきます。このような説明を受け、高校教育も大きく変えていく時期に入ってきました。本校は看護医療に関する特色類型そのまま残していきますので、大きく変化することはありませんが、生活科学科、体育科での課題研究も含め地域との連携を深める中での課題解決学習を加東市唯一の高校として地域と協働して進めていかねばならないと思っています。また、発展的統合に関して北播磨地域でも統合があります。中学生にとっては非常に大事な問題です。今後示される指針をしっかりと見て進路選択をしていただけたらと思います。校長会理事会は、県教育委員会からの連絡を聞き、校長会としての対応と進め方を考え、要望するところは要望していく会議です。先を見通しての話も多く、また物価高や税込減による予算の厳しさなど学校教育活動も工夫が必要となってきます。先生方を含め、多くの方々からのお知恵をいただきながら本校生徒がしっかりと物事を考え行動できるように導いて行けたらと思います。よろしくお願ひします。

それでは10月に入り、令和4年度後半戦スタートです。10月以降は進路でも重要な時期になります。周りに流されず地に足を付けて、しっかりと物事を考えられるようにしていきましょう。体調管理にも気をつけて。